



# 暑中お見舞 申し上げます。

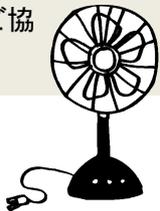
## ●冷房と扇風機とうちわ

暑い日が続きますが、そんなときこそ是非図書館に来てください! 冷房始めました!



本館や新館のどこにいるかで冷房の効き具合が違います。自分だけのベストポジションを探してみてください。

閲覧室の机の周囲に配置されています。周りの人と相談しながら使ってください。誰もいないときはスイッチ off にご協力を!



カウンターでうちわを貸出しています。意外と涼めます。

## C O N T E N T S

### <トピックス>

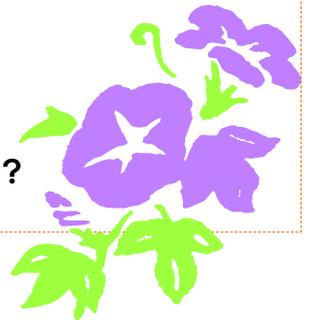
冷房と扇風機とうちわ  
授業のサポートやりました

### <お薦め図書>

『コンセントの向こう側』  
『ローカーボンライフ!』

### <つぶやきライム>

絵本は子供のための本?



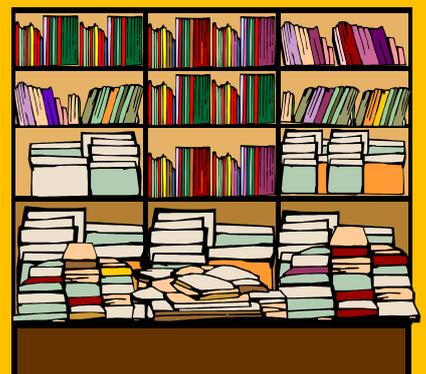
## <ブック★コンパス>

### 学生選書ツアー 2011

テーマに沿って、図書館のおススメ図書を紹介する「ブック・コンパス」。第15回目の今回は年に一度のお楽しみ(?)学生選書の展示です。

学生が図書館に置いてほしい本を選ぶ企画「選書ツアー」が5月に実施されました。今回はそこで選ばれた本を展示しています。

選書ツアーで選ばれた本は、他にもたくさんあります。新着コーナーの左側にまとめてあるので、そちらもどうぞ。



## ●授業のサポートやりました

一回生の初年次教育プログラムの授業「スタートアップセミナー」のサポートを実施しました。

図書館コンシェルジュが資料を探し、職員がまとめてパスファインダーを作成しました。

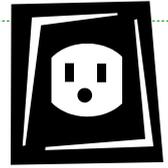
またパスファインダーに掲載の資料について、コンシェルジュが学生たちから質問を受けました。それ以外にも適宜アドバイスなどをおこないました。

パスファインダーとはあるテーマに関する資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの

質問を受けるコンシェルジュにとっても、大変学ぶところの多いサポート活動となりました。



## <お薦め図書>



### コンセントの向こう側：暮らし上手になるエネルギー読本

中岡章著（電気新聞ブックス；A26. エネルギー新書）

### ローカーボンライフ！：温室効果ガスを「知って」、「習慣を変える」ための82データ

Alex Kirdy 著；UNEP/GRID-Arendal Editorial Team 編

ケータイ、TV、冷蔵庫。パソコン、エアコン、洗濯機。レンジ、掃除機……。皆さんのお宅に1つは必ずある、これら便利道具たちはすべて、あの穴につながります。コンセントです。

『コンセントの向こう側』では、このコンセントのその向こうにあるといわれる、エネルギーなるものについて、その種類から向き合い方まで多くの視点が提供されています。その視点は“コンセント”に留まらず、製品が手元に届くまでにかかる間接エネルギーや、専門家の在り方にまで至ります。小さな章から成っているの、読みやすい1冊。



「習慣とは恐ろしいものです。わたしたちが浪費していることを忘れさせ、私たちの生活を支配します。（中略）習慣を変えること、これが本書のテーマです。」というまえがきから始まる『ローカーボンライフ！』では、各種データからより具体的に現状や課題を知ることが出来ます。環境問題に関して国際協力の推進を行う UNEP がまとめており、“すべきこと”を個人から国までそれぞれに言及しています。ユニークな図やグラフ、文章構成で、引きつけられるうちに多くの情報を得ることが出来ます。

省エネ・エコ・クールビズ。もはや新しい言葉ではありませんが、この夏は特にホットな話題になりそうですね。エネルギー問題の復習に役立ててください。

(kori) 【501.6/N42, 451.85/Ki51 2F 閲覧室】

## <つばやきライム(17)～図書館職員のメッセージリレー～>

### 絵本は子供のための本？

最近絵本を読んだのはいつですか？子供のころには読んでいた(読んでもらっていた)けど、そういえば最近読んでないな…。そう感じた人が多いのではないのでしょうか。

私は少し前まで、“絵本=子供のための本”と思っていました。けれど学生の時に、授業で絵本を読む機会がありました。数年ぶりに読む絵本は、内容は覚えているのに、読み終わったときの印象が子供のころとは全く違いました。子供のころは、「おもしろかった。たのしかった。」なんてことしか思っただけなのに、今は、「この場面はこういうことが言いたかったのか。絵だけしか描かれてない場面にも意味があったんだな。」と思うようになりました。

“絵本=子供のための本”と思っていただけで改めて読むと、子供には分かりにくい遠まわしな表現に気がきました。例えば「死」に関する表現は直接せず、絵の中に花などを描くことで「死」を連想させるのです。大人になったからこそ気付かされることもあるので“絵本=子供から大人まで楽しめる本”と思うようになりました。もし、私のように“絵本=子供が読むもの”と思っている人がいれば、ぜひもう一度絵本を読んでみてください。きっと絵本の印象が変わると思いますよ。また、本を読むのが苦手だな…、という人も絵本ならば短く、絵もあるので読みやすいはずですよ。子供のころに読んでいた絵本をもう一度読んでみたらどうでしょうか。新たな発見があるかもしれませんよ。

(Chia-Ki)



(みいなちゃん)

毎日あつーい！こんなに暑いともうのどがカラカラで勉強に集中できない！



(けんさくくん)

そうだね。ご飯を食べに外に行くのもめんどくさいし、涼しい図書館の中で食べたいよ。



(ライム博士)

おいおい、きみたち。図書館のゲートの中は食べたり飲んだりはいけないよ。資料を汚したり、机を汚したりしてはいけないからね。



(けんさくくん)

でも試験のために図書館で長時間勉強することになるし、飲み物だけでもどうにかならないかな？



(ライム博士)

そんなときのために、ゲートの前のラウンジでは、蓋付きのペットボトルなどに限り、飲むのも許可されているよ。是非活用してみよう。